

次号予告 第117巻第7号

宮岡 等【巻頭言】新専門医制度と認定試験

中谷陽二・他【総説】揺れ動くフランスの司法精神医療——最近の文献から——

【特集】これからの精神科医療を考える

——「地域でその人らしく暮らす」を実現するための政策・医療・財源を考察する——

山崎正雄【教育講演】精神科医が記載する書類で知っておくべきこと

——医療保護入院，自立支援医療，精神障害者保健福祉手帳など——

江副 聡【教育講演】若い精神科医に知っておいてほしい精神科医療の課題

——厚生労働省医系技官からみて——

宮岡 等【会長講演】うつ病診療——混乱から地域連携へ——

竹内啓善【精神医学奨励賞】統合失調症における至適な抗精神病薬の用量と投与間隔を求めて

第173回東海精神神経学会

PCN だより Vol. 69-2

【お詫びと訂正】

精神神経学雑誌第116巻9号掲載「向精神薬の副作用モニタリング・対応マニュアル—日本精神神経学会薬事委員会タスクフォース報告—」三浦智史・他論文に誤りがございましたので、ここにお詫びとともに訂正いたします。

オンラインジャーナルは訂正後（正）で掲載させていただいております。

（正）

表1 副作用モニタリング推奨項目

	評価
心電図	QTc \geq 440 ms（男性）、470 ms（女性）の場合は、減薬あるいは他剤への変更を検討，循環器科医への相談が望ましい QTc \geq 500 msの場合は、原因薬剤の中止および他剤への変更を行い，速やかに循環器科医へ相談する

※下線部を，多⇒他に訂正いたします。